

図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

1冊目 『ハリーポッター 賢者の石』

12月6日(月)放送分

まず、1冊目は JKローリング作 『ハリーポッター 賢者の石』を紹介します。

皆さんも知っている人も多いと思いますが、この本のおおまかな内容は、赤子の時両親を殺され額に雷のようなアザを持った少年ハリーポッターが魔法学校ホグワーツに入学し、その学園生活の中で色々な出来事の中で成長していく姿が描かれるファンタジー要素強めの話になります。

この本の一番の特徴といえば その分厚さ。なんとページ数455ページ。自分も初めて読んだときはこんなページ数の多い本が読めるかよ～と思いましたが 1文字1文字の大きさは少し大きめで読みやすいです。更にこの本の魅力は色々なところに伏線があり 最後の方にくると「ああ そうだったのか!!」と見事に一人で叫ぶことができます。

便利な魔法、危険な魔法といろいろな場面でてくる魔法はとても魅力的です。自分も1度は使ってみたいと思う魔法がたくさんでてきます。皆さんもそんな魔法を探してみてはいかがでしょうか。

映画にもなったハリーポッターをみなさんもぜひ読んでみてください。



図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

2冊目 『ヒックとドラゴン』

12月6日(月)放送分

2冊目は ヒック・ホレダス・ハドック三世作 『ヒックとドラゴン』を紹介します。

この本の内容は主人公のヒックはバーク島のモジャモジャ族というバイキングの長の息子です。バイキングとは・・

ヒックはとてもバイキングとは 思えないくらいに体が細くしかも力もありません。そんなヒックは犬みたいに小さく生意気で歯も生えてないドラゴン「トゥーレス」と出会います。

一人前のバイキングと皆からみとめてもらえるようにわがままなトゥーレスと向き合い共に成長していくという内容となっています。

この小説は映画化されており3部作にわかれています。この小説は200ページという簡単に読める小説になっています。

様々なドラゴンが登場しており 個性豊かなドラゴンが出てきます。例えばトゥーレスのような人なつっこいものやティラノサウルスの20倍ほどの大きさのドラゴンができます。

ぜひ読んでみてください。僕は小学校の時から大好きです。